

海と大地の遊び場オープン (道立オホーツク流水公園)

道立広域公園「オホーツク流水公園」のBブロック「海と大地の遊び場」が8月7日にオープンしました。

大きな滑り台やジャンプ山、工夫を凝らしたジャングルジムなど身体を使って遊べる遊具がズラリと並び、市内外から訪れた大勢の子どもたちを喜ばせました。

同公園は一昨年11月から完成部分を順次公開していて、今年には紋別市が整備している花畑がオープンする予定です。



平成22年 紋別市ニュース



兔 ← 寅



2011年

2010年

東 京直行便10周年

平成12年7月1日に紋別圏域の夢であった東京直行便が就航してからちょうど10年目の7月1日、オホーツク紋別空港ロビーで東京直行便就航10周年記念式典が開かれました。

昭和41年の旧紋別空港からの歴史を振り返り、設置者の道をはじめとする関係者に感謝。しかし旅客数の減少など空港を取り巻く情勢は非常に厳しいことから「まさに予断を許さない状況」と危機感を示しました。その上で「空港は医療充実や産業振興に欠かせない交通機関」として、スポーツ合宿誘致や観光促進などによる集客力向上への決意を示しました。



道 立紋別病院移管 正式合意

北海道と西紋5市町村は9月27日、道立紋別病院の移管に関する「覚書」を締結。3月の大筋合意から半年間の調整を経て、ようやく正式合意にこぎつきました。

道庁知事会議室で開かれた調印式を終えた宮川市長は「地域の皆さんに喜ばれる病院作りに向け頑張る。来年4月にすべて揃うわけではなく、年次を重ねて充実させていく。今はほっとしたというより、責任の重さを痛感し、身の引き締まる思い」と語り、本年4月の移管への決意を改めて示すとともに、医師確保については医育大学教授への要請や現病院長の人脈などを活用する考えを述べました。

新病院の開設は、4月1日が目処。今後は地域住民にも、病院を守り育てていく意識が求められることとなります。



紋 別ひまわり基金 法律事務所引継披露宴

平成13年4月に開設され10年目を迎えた紋別ひまわり基金法律事務所の所長が7月11日、4代目の大島未緒弁護士から原田宏一弁護士に引き継がれました。これに先立ち10日には引き継ぎの記者会見と披露宴が市内で開かれ、原田弁護士は「歴代所長のご努力で紋別に根付いてきたが、まだ知らない方も多い。困ったことや悩みなどを気軽に相談できる、駆け込み寺のような事務所にしていきたい」と決意を新たにしました。



循 環バス名前決定「KURURI」 循環バスが愛らしく！ ロゴとキャラクターを装飾

橙色と緑色の車体で親しまれている循環バスに11月10日、愛称「KURURI」の文字とキャラクターの装飾が施されました。

循環バスに使用している中型バス2台は10日から路線運行に就きましたが、小型バス2台は11日からの使用となり、アザラシをモチーフにした可愛いキャラクターで、特に子どもたちの人気を集めています。



市 議会議員選挙

任期満了に伴う紋別市議会議員選挙は8月1日に投票が行われ、定数18に対して現職18人、元職1人のあわせて19人が立候補。7月25日の告示以来、1週間にわたり激しい選挙戦を展開しました。

選挙運動期間中、各候補者は道立紋別病院の地元移管、一次産業の振興、福祉の充実、議会改革などを中心に政策を訴えました。

市選挙管理委員会では投票用紙の読み取り分類機を試行的に初めて使用し、これまで市職員が行ってきた投票用紙の判読や仕分けを、機械が自動的に行いました。

